

# 少年少女わたしの作品

## ゆき

宇治市・神明小1年 佐々木 侑奈

## 光の方向

左京区・ノートルダム学院小4年 中村 優利

### 遠足で学んだこと

伏見区・京都聖母学院小4年

荒川 智史

琵琶湖疏水と動物園に行く遠足を、ぼくはとても楽しみにしていました。

なぜかという、琵琶湖疏水記念館にかざってある「インクライン」のもけいがか動いて、とても気に入っていたからです。

遠足で学んだことをしようかします。

琵琶湖疏水は、琵琶湖の水を京都に運ぶために作られました。できるまで、たくさんのお金と、9年間もかかりました。

工事のお金を用意したり、多くの人のさんせいをえるのは、とて

## お田の長

中京区・高倉小2年 山崎 洋

## 日本の歴史

草津市・玉川小6年 宮川 茉桜奈

も、大へんなことだと分かりました。

疏水工事で大へんだったのは、トンネル工事です。わき水が多く、ポンプを使って水をくみ上げるきけんな工事でした。

きけんな作業も工夫して進めたのは、「疏水を完成させたい」という思いが強かったからだと思いました。工事でぎせいにあった人がいて、おどろきました。

疏水の水の力を使って、インクラインが作られました。インクラインは、複数のけいしゃ鉄道です。けいの舟だまりから、南せん寺の舟だまりをつないでいました。

高低差が36mあり、そのままでは舟でい動できません。インクラインを使って、着いた舟を台車に乗せ、舟だまりの間を行き来させたのはすごいです。

## 心

京田辺市・田辺東小3年 尾崎 歩未

## 草の支澗

山科区・一燈園中3年 西村 藍太郎

疏水の完成は、水力発電や、生活や農業に必要な水として使われて、京都の街の人々の役に立ちました。

ぼくは、しんどくても最後までやりとげる大切さを学びます。

### パラシュートをあげたい

左京区・第四錦林小1年

山本 保喬

いとこや、おばあちゃんといっしょに、たこあげをしました。

いとこのおかあさんが、パラシュートをくれました。

なげてもなげてもとばないから、「たこにくくりつけてとばそう」とおもいました。

まっすぐはしたら、たこもあがって、パラシュートもたかいたところからフワフワおちて「やったー」とおもいました。

### 詩

西京区・上里小6年

水無瀬 心香

この子はいつも一緒

授業中も テスト中も 帰る時も

この子はいつも話しかけてくる

いつでもおかまいなし

授業中も テスト中も 帰る時も

この子は自分のあいぼう

いつも元気づけてくれる

この子はいつも届けてくれる

勇気というえんぴつを

### 映画

北区・椋野小4年

下水木 悠斗

自分の好きな映画

観に来てわくわくする

まだわくわくする

始まるうとする

ドキドキする

映画が終わると元気になる

明日も一緒に観に行こう

作品募集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内) および習字(半紙)で、自分の作品に限り、作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをフリックして、〒604-1857 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ添削することもあります。作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

### 編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望もあれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。

京大博士パズル 答え

カラータイル

丸は入らない	赤い四角が3個入る	三角が4個入る
青い四角が3個入る	赤い四角が4個入る	三角が3個入る
赤い四角が4個入る	青い四角が3個入る	三角が4個入る



ねんてん先生の

575

672

太田さん。カズノコ、このように見えましたか！ カズノコはかむとさくさくと音がしますが、あれ、海坊主たちの音だったのですね。次もこの冬の太田さんの句です。

北風にバタバタバタあブラックパス  
あられふる紙ひこうきを  
とぼした日  
あつたららひとりぼっち  
でだいじようぶ？  
ドジョウちゃん冬休みに

はむによくによよ

小森さん。氷柱の先に白樺湖が光っています。いい風景です。この冬、小森さんは次の句も作りました。

ゆず風呂の香りで家中ほかほかと  
ブロッコリーチーズフォンデュのクリスマス  
掃除して祖父のみかんと

# 雪だるまは友だち

カズノコに何人もいる海坊主

京都市・一燈園小2年 太田 慈

ぴんぴんのつららの先に白樺湖

京都市・瀬田北小5年 小森 勇輝

寒い日に友達つくろゆきだるま

京都市・京都聖母学院小5年 中村 凌久

ピザの夜  
にぼし出汁大根みそ汁初挑戦

中村さん。雪だるまは私の友だち、そして、雪だるまにとっては私が友だちですね。次は中村さんの同級生の作です。

初日の出いまだに一度も見られてない

山田 朋佳

こたつの中のぞいてみるとみかん色

土谷 梨乃

街歩きみかんの香り重な

田畑 咲葵

おくりもの空のせいれい

中島 麻結

(俳人、京都教育大・佛教大名誉教授 坪内稔典)



俳句を募っています(小学6年生まで)。作品3点までと、住所、氏名、学校名、学年、電話番号を明記し、〒604-8577 京都新聞 読者交流センター「ねんてん先生の575」係。メールは575haiku@mb.kyoto-np.co.jp 3カ月に1度、掲載作品から優秀作を選びます。

## 世界の子どもたち



新しい校舎で授業を受けるファティマさん (日本ユニセフ協会提供)

### 新しい校舎で勉強

中東の国イエメンのラヒジュ県にある学校で、授業を受けているのはファティマさん(12)。学校が建てかえられて、勉強に集中できるようになったと喜んでいきます。

以前の校舎は屋根がありませんでした。ラヒジュ県は年間を通して気温が高く、30度をこえる日も多いため、暑さや風で授業に集中しづらかったそうです。

「将来は、学校の先生になりたいです」とファティマさんは言います。自分の先生が子どもたちに教える姿を見て、あこがれたそうです。

(日本ユニセフ協会)